

農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表  
【管理業務の実施状況】

施設名	農業拠点施設
指定管理者名	株式会社あびベジ
指定管理期間	令和5年4月1日 ~ 令和10年3月31日
モニタリング期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日

評価…5点：評価の視点を満たしており、特に優れた成果が出ている。 4点：評価の視点を満たしており、優れた成果が出ている。

3点：評価の視点を満たしている。 2点：評価の視点を満たしているとはいえないが、取り組みが見られる。 1点：評価の視点を満たしているとはいえず、取り組みが見られない。

総合評価…S（特に優れている）：市評価と各選考委員評価の平均得点が5 A（優れている）：市評価と各選考委員評価の平均得点が4以上5未満

B（普通）：市評価と選考委員評価の合計得点が3以上4未満 C（不十分である）：市評価と選考委員評価の平均得点が2以上3未満

D（全く不十分である）：市評価と選考委員評価の合計得点が2未満

※各評価項目を事業計画書・収支計画書・協定書・事業報告書・実地調査の結果及び事業報告確認書に基づき以下の評価の視点で評価しました。

評価項目	評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	各選考委員平均評価	選考委員会意見	市と各選考委員評価平均点	総合評価	
事業の実施に 関する業務	法令順守	必要な体制の構築や研修を実施し、スタッフや出荷者が管理・運営に必要な法令を遵守する体制を整えているか。	3	・労働基準法に基づく労務管理改善に向け、評価制度の導入による評価を実施している。 ・社会保険労務士の指導に基づき、スタッフを雇っている。 ・食品衛生法その他関係法令を遵守している。	3	事業計画書等に記載のとおり、関係法令を遵守している。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	農産物販売	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、利用促進や顧客確保に努めているか。	4	・農産物フェアの実施により、農産物の旬をアピールすることができ、売上増に繋がった。 ・あびこエコ認証キャンペーンに協賛し、エコ農産物の買い上げが増え、出荷も増えた。 ・継続的なキャッシュレス化（クレジット、電子マネー）を推進し、顧客の利便性を高め、利用促進を図っている。 ・委託業者からの魅力的な商品を導入することで、顧客数が増えた。	3	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。また、昨年度と比較し、収入を増加させたこと及び収支が黒字であることは評価したい。	3.3	報告書には記載はないが、日常的に客においしい食べ方の説明を行ったり、価格の違う同商品の違いを説明している。	3.3	B
	加工品販売 開発・製造	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、利用促進や顧客確保に努めているか。	3	・コロナ感染症が5類に移行したが、中食需要が続き、お弁当、おにぎり、惣菜の売り上げに繋がった。 ・農産物フェア時に、旬食材を使った加工品を多く製造し、売り上げに繋がった。 ・菓子部門では、メインメニュー製造の隙間時間にミニスイーツ製造販売で顧客満足度を上げ、売り上げ増に繋がった。 ・地元野菜を使用した惣菜や野菜ピザを継続販売し、顧客確保に繋がった。	3	事業計画書等に記載のとおり、加工品の販売や開発・製造に取り組んでいる。また、昨年度と比較し、収入を増加し、収支赤字額を減少させたことは評価したい。但し、光熱費や物価、人件費の高騰の影響もあり、年度収支が赤字となっているため、状況に応じた運営状況の改善を図っていくことが望まれる。また、専門家による指導を受けている中で、現在の商品の製造方法やコストの見直しを図ると共に、顧客確保に向けて我孫子産農産物を活かした魅力ある商品開発を期待する。	3.0	スーパーや道の駅しようなんとの住み分け、ターゲット層の絞り込みをしっかりと調査・検討の上、商品開発に取り組んでください。市民や市職員による、ボランティアのワーキングチームを作ってはいかがでしょうか。	3.0	B
	飲食施設	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、利用促進や顧客確保に努めているか。	3	・農産物フェアでは、スペシャルメニューを提供し、季節感を出すことができた。 ・全てのメニューについて、オーダー後に調理することにより、顧客満足度が上がった。 ・ティータ임을充実させるため、デザートメニューや地元食材での季節のドリンク（柚子茶、梅ジュース、紫蘇ジュース、トマトスムージー）を増やし、顧客満足度を上げた。 ・度重なる材料費の高騰により一部価格の改定をし、収支状況の改善を図った。	3	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保などに向けた取り組みが見られる。また、昨年度と比較し、光熱費や物価、人件費の高騰の影響もある中、収入を増加させたこと及び収支が黒字であることは評価したい。併設の飲食施設である強みを活かし、より消費者ニーズにあったメニューの提供と効果的な集客施策の展開を期待する。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	学校給食	各小中学校の栄養士に対して旬な野菜の情報発信を行う等利用促進に努めているか。また、給食以外にも食育の取り組みに努めているか。	3	・異常気象や夏の猛暑ではあったが、安定的に食材提供できた。 ・給食コーディネーターによる「地元野菜紹介（毎月）」と「タイムリー野菜情報」により、市内小中学校に情報発信した。 ・定期的な給食4者会議を実施し、問題点の改善を図っている。	4	事業計画書等に記載のとおり、旬な野菜の情報発信や利用促進等を行うとともに我孫子産野菜の安定供給に努めている。また、昨年度と比較し、収入を増加させたこと及び収支が黒字であること（学校給食のため赤字にならないことは評価したい。さらに、食育授業により、旬な野菜の情報発信をしていた「とうもろこしの皮むき」、「そら豆のさやむき」の体験が実施できたことは評価したい。	3.7	継続的な連携で、年間を通して学校給食に地元農産物を供給できていることは素晴らしいと思う。また、食育にも協力できていた。猛暑への対策で、供給計画（回数）の見直しを図れるとより良いのではないかと。 安定供給、旬の野菜の情報発信。子ども達への食育授業で野菜の処理の体験ができたことはとても良いと思う。	3.7	B
	イベント	事業計画書等に記載されているイベントまたはそれに代わるイベントで、農家と市民の交流や顧客確保に努めているか。	3	・あびこ産農産物体験交流事業を継続させ、消費者との交流を深め、農業への関心を持ってもらった。 ・外部主催イベント（桜まつり、Enjoy手賀沼、大正ロマンウォークin手賀沼、JFB、全国農協観光協会体験交流ツアー、農業まつり等）に積極的に協賛して、あびこ産をPRした。 ・創業祭で農家による軽トラ市販売を実施し、消費者との交流を図った。 ・あびこ産主催（NPO法人劇団の演劇上演）を実施し、集客を図った。	4	事業計画書等に記載のとおり、利用促進や顧客の確保に向けた取り組みが見られる。体験農園事業により、農家と市民の交流が図れたことは評価したい。また、新型コロナウイルスの影響で規模を縮小していたイベントを再開しながら、出荷農家による農産物直売会（軽トラ市）など新たなイベントが実施できたことは評価したい。新規顧客の発掘を図るためにも、直売所の特徴を活かしたイベントの開催を期待したい。	4.0	だけのこフェア・Enjoy手賀沼・軽トラ市等多くのイベントの開催により、市民の多くの参加があり、農業拠点施設としての役割を果たせていることを評価したい。 多くのイベントに取り組んだことは評価したい。今後も農業者と市民の交流や新規顧客確保に繋がる魅力的なイベントを積極的に協賛してほしい。 「農業体験交流事業」は、農業を知ってもらう上で大切なことだと思いますので、引き続き充実を図っていただきたい。 毎年恒例の農業体験等に加え、外部イベントとの協賛や軽トラ市の新たな取り組みがあった。これからも楽しみにしています。 イベント時だけでも営業時間を延ばせると良いと思う。	4.0	A
	情報発信	事業計画に記載されている内容またはそれに代わる方法で、我孫子の農業のPRや利用者にとって有益な情報を発信するよう努めているか。	3	・我孫子市ふるさと大使ナイツ場さんによる広報動画撮影の依頼を受けた。 ・ちばテレビの動画撮影の依頼を受けた。 ・WEBサイト（インスタグラム、フェイスブック等）で適宜情報発信し、周知を図った。 ・千葉県民間企業の企業情報コーナーの取材を受けた。	3	事業計画書等に記載のとおり、適宜情報発信を行っている。SNSや店内POPなどで、旬な野菜の情報などを積極的に発信したことは評価したい。より積極的な情報発信の強化を期待する。	3.0	SNSでの発信、イベント等はこちらで大きく告知していいと思います。旬のお野菜情報等は素晴らしいと思います。忙しい中大変とありますが、ご検討よろしくお願ひします。	3.0	B
	経費縮減	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、経費縮減に努めているか。	3	・適正なシフト管理やマルチスタッフ化で、人件費を抑えている。 ・直売所では、仕入れ品の厳選と仕入れ量の適正化に努め、廃棄ロスを削減した。 ・米舞亭では、ロスが出ないように適正仕込み量のチェックリストを作成・適用し、ロスを削減した。 ・電気ガスの使用量を抑え、光熱費の増大を抑えた。 ・備品購入時には見積合わせを実施し、良質で安価な商品を購入している。	3	事業計画書等に記載のとおり、一般経費の縮減に努めており、高騰した光熱費への対策、仕入れの改善やシフトの適正化など経費縮減の取り組みが行われたことで、全体収支の黒字化に繋がっていることは評価したい。部門に捉われず柔軟にスタッフを配置するなど、より無駄の無いシフトを組み、適正な経費とすることを期待する。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
利用者への 対応業務	市民平等	事業計画書等に記載されている内容またはそれに代わる方法で、市民の平等な利用の確保に努めているか。	3	・登録農家以外にも積極的に声掛けを実施し、農業者の公平な利用に努めた。 ・ポイントカードの継続導入により、消費者還元を平等に行っている。 ・直売所部門では、通路を広くして車椅子の利用を可能にしている。 ・レストラン部門では、子ども用の椅子や食器を用意し、幅広い年齢層の利便性を考慮している。	3	事業計画書等に記載のとおり、市民の平等な利用の確保に取り組んでいる。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	ニーズ把握	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、消費者ニーズを把握しサービスに反映するよう努めているか。	3	・直売所でお客様の要望（取り置き、取り寄せ等）にできるだけ応えた。 ・各部門にご意見を設置することで、顧客ニーズを収集し、サービスに反映した。 ・直売所及び米舞亭では、接客で気付いた点の日誌への記録や聞き取った内容を朝礼等で周知により、スタッフ間で情報共有し、改善に繋がった。	3	事業計画書等に記載のとおり、ニーズの把握に努め、サービスに反映している。朝礼等で接客で気になった点をスタッフと共有するなど、会社全体で求められるサービスの向上を図っていく取り組みができたことは評価したい。より多くの利用客に満足してもらえる施設となるように、アンケート内容への具体的な対応を期待する。また、積極的なアンケート実施を行い、ニーズ把握に努めてほしい。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	苦情対応	事業計画書に記載されている内容またはそれに代わる方法で、苦情に適切に対応できるよう努めているか。	3	・苦情の把握と対応フロー図に基づき、迅速かつ適切に対応している。 ・対応した内容は、朝礼及び昼礼でスタッフ間で情報共有し、反映させている。	3	事業計画書等に記載のとおり、対応する体制が整っている。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	利用料金	我孫子市手賀沼親水広場の設置及び管理に関する条例に基づき、出荷者から公平・公正に利用料を得ているか。	3	・トラブルは無く、適正に処理している。	3	事業計画書等に記載のとおり、利用料金を適正に徴収している。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B

農業拠点施設指定管理者 事業報告評価総括表  
【管理業務の実施状況】

評価項目	評価の視点	指定管理者評価	指定管理者コメント	市評価	市意見	各選考委員平均評価	選考委員会意見	市と選考委員会評価合計点	総合評価
維持設 管及 業理 び 務に設 関備 す の	危機管理	3	・コロナは5類に移行したが、あらゆる感染症予防のために、店内各所に消毒液の設置、買い物かごや発券機の定期的な消毒をしている。 ・レストランでは、店内席の間隔を広く取る、換気を良くするなど予防対策をしている。 ・消防及び震災等の避難訓練マニュアルを作成し、体制を整えている。 ・緊急時の連絡体制を確立している。	3	事業計画書等に記載のとおり、緊急事態に対する予防策や対応できる体制を整えている。緊急時の連絡対応がしっかりと取れるように、訓練の実施をお願いしたい。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	衛生管理	3	・HACCPの考えに基づき衛生管理を各部門で実施している。 ・食品を扱う部門では、食材を電解水で洗浄している。 ・食品を扱う部門では、日常作業の中で消毒の徹底、作業衣（エプロン、ヘアキャップ等）着衣の徹底をしている。 ・全部門においてスタッフの健康管理は、健康管理表で継続的に管理している。	3	事業計画書等に記載のとおり、衛生管理を適切に行っている。スタッフや出荷者への衛生面の指導を行い、より安全・安心な施設となるように対応したことは評価したい。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	備品管理	3	・あびこで購入した備品（什器）について、備品台帳で管理している。 ・市から貸与された備品についても適切に管理している。 ・備品の在庫をこまめにチェックし、不要な購入を控えた。	3	事業計画書等に記載のとおり、備品を適切に管理している。引き続き適切な備品管理に努めていくことを期待する。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	清掃	3	・作成した清掃マニュアルに基づき清掃をしている。 ・清掃スタッフを雇用し、直売所やレストラン店内の清潔を保持した。 ・加工室（1、2）や飲食厨房は現場スタッフにて毎日行った。	3	事業計画書等に記載のとおり、施設が清潔な状態となるよう清掃を行っているため、今後も継続的な清掃管理に努めてほしい。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
その他	市民の雇用 市内業者の 活用	3	・市民雇用者 8.4%（44名中37名）を雇用している。 ・市内商業者 4.6%（61軒中28軒）	3	事業計画書等に記載のとおり、積極的に市民の雇用と市内業者を活用している。引き続き雇用や取引を新規で行う際は、積極的な市民の雇用、市内業者の活用をお願いしたい。	3.2	評価の視点を満たしている。	3.1	B
	人材配置	3	・シフトによる適材適所を考慮したローテーション制を実施し、適宜人材配置の見直しを行っている。 ・スタッフのマルチ化を図り、労働力ロスを改善している。 ・学生バイトを雇用し、天候に併せた柔軟な雇用を実現している。	3	事業計画書に記載された計画に沿った人員を配置しているが、業務の効率化と合わせて適正な人員数を適宜見直ししていくことを期待する。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	人材育成	4	・若手就農者の農業技術向上のため「持続可能な農業を考える」勉強会を企画し、座談会及びベテラン農家の農場見学会を実施した。 ・講師を招いて、経営者の経営力向上のための研修会を3回実施した。 ・新人スタッフ研修で新たに、「座学」研修を取り入れ会社の目的を説明した。 ・スタッフの情報共有と意識向上のため各部門のリーダー会議を定期的に実施した。	3	事業計画書等に記載のとおり、研修計画に沿って人材育成を図っている。スタッフだけでなく、出荷農家に目を向け、勉強会を実施したことは評価したい。少しずつマルチスタッフ化を進めているが、今後も社内全体でのマルチスタッフ化を活性化することを期待する。	3.5	スタッフ・経営者研修を定期的に行い、また農業者育成研修の実施により、農家の経営基盤の強化に努力していることは評価することができる。 とても重要な施策であると思いますので、引き続き後継者育成を頑張ってください。	3.4	B
	個人情報	3	・PCに関しては、取り扱い者を限定している。 ・ペーパー類の情報は施設可能な保管庫で保管し、情報の持ち出しはしていない。	3	事業計画書等に記載のとおり、個人情報の保護体制を整えている。	3.0	評価の視点を満たしている。	3.0	B
	連携体制	5	・市内小学校と連携して、野菜作り指導及び直売所見学を受け入れた。 ・農業まつり実行委員として、他団体と連携し、農業まつりを盛り上げた。 ・全国農産観光協会と連携して農業体験交流事業を実施した。 ・あびこ型「地産地消」推進協議会と連携し、連絡協議会の実施や学校給食の食材提供を行った。また、「ちびっこ餅つき大会」に協力して盛り上げた。 ・住み良いまちづくり研究所と連携し、「あびこ桜まつり」を盛り上げた。 ・夏休み期間中、キッチンカーと連携し、じゃぶじゃぶ池利用のお客様へサービス向上を図った。 ・千葉県農業事務所と連携し、農業の立ち入り検査の実施をした。 ・千葉県安全農業推進課と連携し、農産物残留農薬分析調査に協力した。 ・千葉県県、手賀沼・手賀川活用推進協議会と連携し、活性化の打ち合わせを実施した。	4	事業計画書等に記載のとおり、各団体と連携した事業の取り組みがみられる。近隣小学校との連携を強化し、食育に関する様々な取り組みができたことは評価したい。今後も市民交流や顧客確保を効果的に推進できるように、より積極的な連携を期待したい。	3.8	各団体とのイベント、東葛農業事務所との連携、市内小学校、農業まつり実行委員会、他各外部団体、我孫子市他多くの連携を積極的に行っていることを評価したい。 各種イベントや事業を通して、他団体との連携をさらに広めることができたと思う。 市内小学校との連携による野菜を身近に感じてもらう活動や各段団体との連携でイベントを支える等の実績を評価します。	3.9	B
	平均点	3.2	平均点	3.1	平均点	3.2	平均点	3.2	

指定管理者選考委員会総評

レジ通過者数は前年より3,500人程減少したが、客単価が40円程上昇しているため、全体の売上高が増加した。コロナの5類移行による収束に向かっている客数の動向が気になるところであるが、前年度比の収支状況はマイナスとなった。人件費等の経費の増加によるものであり、今後とも注視していく必要がある。連携体制については積極的に展開している点、大いに評価できるものである。

昨年に続きコスト削減に取り組み、黒字化を図りながら、事業計画書とおりの事業や取り組みを行うことができていた。今後も農業拠点施設としての特徴を活かした活動の継続や強化が図れるよう、行政や他団体との協力体制を構築して欲しいと考える。

事業計画書等に記載している内容に即した取り組みを行っており、評価の視点を満たしている。光熱費等が高騰する中で、かつ、売値への価格転嫁が難しい状況にも関わらず、適正なシフト管理やマルチスタッフ化等により、人件費を抑えるなどして、黒字決算となったことは評価できる。